

## 令和5年度 経営協議会学外委員からの主な意見と本学の対応状況

○第1回（令和5年5月30日（火）開催）

### 【令和5年度富山大学入学者選抜試験の実施結果について】

#### 学外委員からの意見

- ・大学院への入学について、内部からの進学に加え、他大学、留学生に向けて、富山大学の研究の特色をPRするとともに、社会人が入学しやすいよう、柔軟なシステムを作ってはどうか。

#### 本学の対応状況

ご意見のとおり、内部からの進学に加え、他大学の学生や留学生に向け、本学の研究の特色等の情報をホームページ等で一層積極的に発信します。

在職のまま入学する社会人大学院生への配慮については、オンライン授業の活用等のほか、離職することなく修学できるよう、すでに全研究科で長期履修制度を設けており、また、昼間のほか夜間に授業等を履修できるための特別措置（大学院設置基準第14条特例）を講じており、希望に応じて対応しています。今後は、オンデマンド教材の充実、研究上の相互交流の場の提供など、社会人にとってより魅力的な教育環境の整備に努めていきます。

また、教育研究評議会において、各部局の学内進学率の向上や、社会人入学生及び海外からの入学生の増加に向けた具体的な取組（説明会の開催、社会人向けカリキュラムの設定、留学生対象の入試制度の改善等）について意見交換を行い、意識の共有を図りました。今後も大学院の充実に向け、全学で取り組んでまいります。

○第2回（令和5年6月27日（火）開催）

### 【「Saito Vision 2023」について】

#### 学外委員からの意見①

- ・持続可能な社会の実現に向けて取り組むことの記載や文系の取組の記載を充実させてはどうか。

#### 本学の対応状況

ご意見を踏まえ、ビジョンの内容を更新し、「社会の持続的発展に寄与」の文言を追加した。

また、ビジョンの具体的中身となるアクションプランに関しても、持続可能な社会の実現に係る取組や、文系に関する大学院の事項を追加する等、内容を充実させた。

#### 学外委員からの意見②

- ・スローガンはこれまでと変わっているが、ビジョンが変わっていない。新しい動きもあり、さらに一歩進めることが見えるよう、ビジョンも変えてもいいのではないか。

#### 本学の対応状況

3つのビジョン全てを改めて検討し、新たなスローガン（“みんなで創ろう！” おもしろい大学）に対応した内容に変更した。

## 【附属病院の令和4年度経営状況及び令和5年度事業計画について】

### 学外委員からの意見

- ・富山大学が拠点となって、地域医療と連携している図を追加してはどうか。

### 本学の対応状況

本学附属病院は、富山県内唯一の特定機能病院として高度専門医療を提供している他、臨床研究の推進、医師の育成・派遣、地域医療機関との連携といった役割を果たしている。

特に、富山県内をはじめ地域医療機関に本院医師を継続的に派遣し、地域医療体制の維持に貢献している。また、地域医療の最後の砦として、高度な救急診療体制を確立するため、病院全体で救急体制強化に向けた取組みを推進するとともに、地域及び本院の救急を担う救急医の育成に一層取り組んでいる。

これらの取組みを含め、本院が拠点となって地域医療と連携していることがわかるポンチ絵を作成し、ご説明させていただく。

## 【令和5年度科研費採択実績等および令和4年度外部資金受入実績について】

### 学外委員からの意見

- ・科学研究費とともに、JSTなどの産学が連携する外部資金の獲得に向けた取組を期待する。

### 本学の対応状況

本学ではこれまでも、研究推進機構内の学術研究・産学連携本部に所属する、URAやコーディネーターが中心となり、学内への情報提供や、外部資金獲得のための申請説明会、申請書作成個別相談等を行い、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）や国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）等が実施する、大型競争的研究費への申請を実施している。昨年度も、JSTが実施する「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）【地域共創分野（育成型）】」に対して、先進アルミニウム材料国際研究センターとURAが中心となり申請し、採択される等成果も出ている。

今年度からは、更に外部資金獲得を強化するため、URAやコーディネーターを3名増員し体制を整備した。今後もこれまでの取組みを進めるとともに、新たに継続的に大型競争的研究費獲得に向けてデータ等に基づく大学の競争力ある研究成果を基にした競争的資金獲得戦略を策定していくなど外部資金獲得に向けた取組みを進めていく。

○第4回（令和6年1月23日（火）開催）

**【中期目標・中期計画の変更について】**

**学外委員からの意見**

・北陸地域における卒業生の就職率向上や留学生の定着への取組について、今後検討いただきたい。

**本学の対応状況**

○北陸地域における卒業生の就職率向上への取組について

本学では、将来の地域産業を担う人材を育成する目的で、信州大学・金沢大学と連携して企業課題解決型インターンシップを組み入れた教育プログラム（ENGINE教育プログラム）を実施している。

本プログラムにおいて、本学は富山・長野・石川の3県の企業と3大学が協働して行うインターンシップの実施及び県内企業を受入先とした課題解決型インターンシップを主催しており、地域や地域企業が抱える課題に向き合い、地域企業が求める人材となるための能力向上を図るとともに、地域企業への理解を促進している。

また、本プログラムにおけるキャリア形成イベントとして、各県内企業に勤める社会人との交流を通じ、地域や企業への理解を図る「しごと一く・大しごと一く」を各大学で実施している。本学では富山県や(株)北日本新聞社と協働し実施しており、信州大学・金沢大学の学生も参加している。また、本学学生にも、他大学で実施される「しごと一く・大しごと一く」の情報を周知し、本学学生の参加を促している。

**【令和5年度実績】**

大しごと一く in 富山：（令和5年7月8日開催） 参加学生 70名

しごと一く：（毎月1回開催） 参加学生 計58名

（その他本学での取組）

・学内合同企業説明会

5月に本学就職・キャリア支援センター主催の「インターンシップ・仕事体験合同企業説明会」、11月に産学交流振興会主催の「業界・企業研究会」を学内にて開催している。北陸地域の企業も多く出展し、本学学生が地域企業の魅力を発見する場となっている。

**【令和5年度実績】**

インターンシップ・仕事体験合同企業説明会（令和5年5月27日・28日開催）

参加企業 280社、参加学生 計1,326名

業界・企業研究会（令和5年11月1日開催）

参加企業 201社、参加学生 計860名

・県内企業訪問

大学コンソーシアム富山が主催するイベント（本学が実施校）であり、学生が県内企業等の就業現場を見学し、社員と意見交換を行うことで、県内企業の魅力を発見するとともに、就業意識の向上を図ることを目的としている。

**【令和5年度実績】**

県内企業訪問（令和5年9月6日～12日開催）参加学生 計80名

なお、北陸3県からの学部入学生比率（令和5年度）は43.3%であるのに対し、学部卒業生の北陸3県への就職率（令和4年度）は52.4%となっている。

今後も引き続き、上記の取組を通じ、北陸地域での就職率向上を図りたい。

#### ○北陸地域における留学生の定着への取組について

本学では、留学生向けの就職ガイダンスとして「外国人留学生のための就職活動講座」を開催している。また、留学生と企業経営者が語らう場として富山経済同友会と本学の共催で「TOYAMA Katarai Cafe」を開催し、本学のほか県内大学の留学生が参加している。さらに、令和6年2月、県内企業を訪問し、社員と交流することで日本企業への理解を深め、地域産業についても学ぶ「外国人留学生のための富山県内企業見学会」を初めて開催した。

そのほか「外国人留学生採用セミナー&外国人留学生との交流会」（北陸経済同友会、北陸環日本海経済交流促進協議会主催）や「留学生北陸3県ジョブフェア」（北陸未来共創フォーラム留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」主催）など留学生と企業が参加するイベントに本学の留学生が参加している。

また、県内企業訪問（県内7つの高等教育機関の学生が県内企業をバスで訪問する事業（大学コンソーシアム富山）にも留学生が参加している。

今後も引き続き、地域の経済団体や企業等と連携して、留学生の富山、北陸地域での就職に繋がる企業と留学生の出会いの場の創出などに取り組んでいきたい。